

議会ニュース

・総務福祉・産業文教常任委員会
合同道内行政調査報告②



ログハウスの中で民宿運営の説明を受ける

余市町

人口 19,698人
(平成28年9月末)

面積 140.59km²

【調査を終えての所感】
気候風土に適した果樹園、観光地での事業運営で、この場所では何が出来るのかとの発想の中から生まれたものになっています。

本町においても、果樹は無いものの、農産物、酪農、漁業などにおいての可能性に着目し、一考するべきものと思われれます。

【施設の概要】
●老人総合福祉施設
やすらぎの家
・特別養護老人ホームをはじめとした多目的な老人総合施設

- 高齢者生活福祉センター
ひだまり
・概ね60歳以上の一人暮らしや夫婦の方が、安心して自立した生活ができる施設
- ・入居 平成11年12月1日
- ・鉄筋コンクリ造、地上1階
- ・定員 20人
- ・居室
単身者向け12室 32㎡
夫婦向け 4室 44〜49㎡
- ・施設利用料(月額)
管理費
単身者 1万285円
夫婦 1万5428円
- ・収入による



明るく広々としたやすらぎの家を視察する

議会ニュース

・総務福祉・産業文教常任委員会
合同道内行政調査報告①

総務福祉・産業文教常任委員会の合同道内行政調査(10月26~28日)の報告が第4回定例会において行われました。

(掲載内容は報告書を要約したものです。)

総務福祉・産業文教常任委員会 合同道内行政調査報告

後志管内

ニセコ町

道の駅の運営と生産者の顔の見える農産物直売所

ニセコ町は羊蹄山などの山々を眺望できる絶景の地であり、また観光リゾート地として知られている。国道と道道が交差し、広域的な集客力が見込まれることから、地域振興の核施設として平成9年、道の駅ニセコビュープラザを整備した。

- 【施設の概要】**
●道の駅ニセコビュープラザ
・建設費 2億2368万円
・維持管理費 1797万円
・営業時間 年中無休
午前9時〜午後6時
- 農産物直売所
・売上 2億9000万円
(平成28年度見込み)
・会員68名が販売活動を行い、売上12%が経費となる



生産者の紹介文が設置された農産物直売所

【調査を終えての所感】
ニセコビュープラザは、ニセコ町の情報発信基地、地域産業の活性化、地域振興の核施設として、情報プラザと特産品の販売、食を提供するフリースペース棟をメインにトイレ及び駐車場を町が整備し、全国で初めて株式会社化された株式会社ニセコリゾート観光協会が管理運営を委託されています。

利用者は、50万人から70万人の間で推移しています。8割は札幌圏からであり、町民は1割程度です。

ニセコ町

人口 4,938人
(平成28年9月末)

面積 197.13km²

ニセコ町の農家戸数180戸の内、60戸が直売所に登録し、年間1000万円の売上を誇る農家もいるとことです。

直売所の出店数増加に伴い、POSシステム、バーコードシステム、これだすシステム、直売所総合販売管理システムを導入し、農家にリアルタイムで情報を提供し、生産者の意欲向上に繋がっています。

地域観光地の発信場所、農産物直売を通して、生産者の顔が見える責任、新たな産品の掘り出しなど生産活性化を導く、一つの取り組みであり、本町においても関係団体とともに、地元生産物の直売なども含め、一層の観光・情報発信機能の充実を図って行くべきと思われれます。

- 【施設の概要】**
●まるまったファーム21
・宿泊(1泊2食・税別)
大人 6000円
子供 4200円
- ・1日1グループ10人まで
・3階建てログハウス
・果樹オーナー制度も実施

後志管内

余市町

果樹栽培の町の農家民宿(ファームイン)

余市町は近隣の仁木町とともに果樹栽培が盛んなエリアであり、様々な観光果樹園や加工品販売店が立ち並んでいる。その中で、宮野安民(やすひと)さん、秀子さん夫妻が果樹栽培を営む傍ら、農家民宿(ファームイン)「まるまったファーム21」を運営している。まるまったファーム21は、平成11年に余市町の山間に、後志地域で最初の農家民宿として設立された。

- 福祉施設
- ・開所 平成8年7月15日
 - ・事業費 2億2368万円
 - ・介護老人福祉施設(特養)入所定員 50名
 - ・短期入所生活介護入所定員 10名
 - ・通所介護 1日利用定員 20名
 - ◎入所者の居住空間を大切にすため、できるだけ個室にし、各部屋にトイレ・洗面所を設置している。
 - ◎奈井江医歯会の協力のもと、かかりつけ医師の診療を受けられる仕組みを取り入れている。
- ◎ヘルパーを利用したり、近隣の町の認知症デイサービスを利用して入居者もいる。

【調査を終えての所感】
町の地域性もあり、医療機関施設や医師の協力が得られ、老人福祉施設の充実が図られています。

やすらぎの家の施設は、明るく広々としており、居室も1人用と2人用のみとなっています。

入居者の効率化についても

議会ニュース

議会ニュース

・委員会レポート①

・総務福祉・産業文教常任委員会
合同道内行政調査報告③



解体前の建物を視察する総務福祉常任委員

委員会レポート

総務福祉 常任委員会

解体予定の 町有建物を視察

■11月14日
◎所管事務調査
(現地調査)
①サロマ斎場火葬炉耐火物
張替工事・非常用発電設
備設置工事・屋根改修工
事
②町有建物解体撤去工事

■12月14日
◎所管事務調査
①地方議会議員の厚生年金
制度への加入を求める意
見書の提出について
②J.R北海道への経営支援
を求める意見書の提出に
ついて
③「高額療養費」「後期高
齢者の窓口負担」の見直
しにあたり、現行制度の
継続を求める意見書の提
出について
④国による子ども医療費無
料制度の創設を求める意

(クリニックさろま住宅)
③クリニックさろま駐車場
整備工事

■12月2日
◎所管事務調査
①固定資産評価員の選任に
ついて
②臨時福祉給付金について
③国民健康保険税条例の一
部改正について
④税条例の一部改正につ
いて

見書の提出について
⑤国民健康保険療養費国庫
負担金の調整(減額)廃
止を求める意見書の提出
について
⑥全国規模の総合的なアイ
又政策の根拠となる新た
な法律の早期制定を求め
る意見書の提出について
⑦安全・安心の医療・介護
の実現と夜勤交替制労働
の改善を求める意見書の
提出について

産業文教 常任委員会

佐呂間小学校を視察

■11月14日
◎所管事務調査
(現地調査)
①佐呂間小学校玄関・プレ
イルム等改修工事
②災害復旧事業(富武土知
来間道路・浜佐呂間番号

■12月1日
◎所管事務調査
①農業委員会の委員の定数
に関する条例の制定につ
いて
②農業振興条例の一部改正
について
③農業後継者育成支援対策
事業補助金について
④除雪体制見直しに伴う
シヨベル借上について
⑤平成28年度公共土木施設
災害復旧工事について



小学校の玄関を確認する産業文教常任委員



ひだまりの居室を視察する

奈井江町

人口 5,664人
(平成28年9月末)
面積 88.19km²

努力されていますが、町の持
ち出し比率が高い状態で、近
い将来、民間委託運営も検討
されているとのこと。
本町の現状においても医療
面、施設が町民福祉、老人福
祉の要望に十分な対応を行う
ことができるのかを感じさせ
るものであります。今後の
政策について、財政面、要望
などの均衡のとれた福祉政
策が必要であると思われま
す。

【事業の概要】
●ひがしかわ株主制度
・平成20年に開始
・寄付によって株主となり町
づくりに参加する制度
・株主は特産物の返礼品の他、
公共施設の優待利用などの
特典が得られる
・投資実績 9827万円
(平成27年度)
・株主数 1万1070人
◎制度名称に「納税」を使わ
ず株主制度とし、自主的に

町を応援し、成長に貢献し
ていると受け取ってもらら
う仕組みづくりを考えた。
●写真の町
・昭和60年に写真の町宣言
・東川賞の授賞、国際写真フェ
スティバルなど、写真を通
じた各種イベントを開催
・定住人口、交流人口が増加
◎非日常的なイベントと、日
常的な地域づくりで、町の
ブランド化を進め、町の活
性を図った。

北海道のほぼ中央に位置
し、旭川市中心部から13km
旭川空港から7kmの位置にあ
る。東部は山岳地帯で、大規
模な森林地域を形成してい
る。日本最大の自然公園「大
雪山国立公園」の一部となっ
ており、旭岳や羽衣の滝の他、
旭岳温泉、天人峡温泉などに
年間100万人の観光客が訪
れる町でもある。

【調査を終えての所感】
株主制度は、ふるさと納税
を活用した取り組みでありま
すが、返礼品目当ての寄付集
めではなく、株主(寄付者)
が東川町の地域づくりに関わ
る制度になっており、交流人
口を増やすとともに、移住へ
とつながるものとなっていま
す。



東川町の事業について説明を受ける

東川町

人口 8,092人
(平成28年9月末)
面積 247.30km²

写真という取り組みを通じ
て、「自然」「文化」「人と人
の出会い」を大切にすること
につながっています。
いずれにしても、現町長の
リーダーシップのもと、職員
の意識改革を図るとともに、
町民の意見や柔軟な発想のも
と、積極的に町内外へ情報発
信し、美しい大地と豊かな暮
らしがある町を目指す取り組
みは、本町も参考とすべきと
思われます。

議会ニュース

・委員会レポート②

・イワシユケコマナイ川災害復旧工事
・佐藤の沢川災害復旧工事

- 12月14日
- ◎所管事務調査
- ①大雨災害に関する意見書の提出について

議会運営委員会

議会活性化に向け議論を進める

- 11月14日
- ◎議会活性化について
- ①一般質問のあり方について
- ②議会ホームページの充実について
- ③議場中継システムの導入について
- ④議会基本条例等の制定について

議会広報特別委員会

議会だより109号を編集

- 11月14日
- ◎所管事務調査
- ①議会だより109号の発行について

全員協議会

議会活性化について全員で協議

- 11月24日
- ◎協議事項
- ①公共施設等総合管理計画及び公共施設等総合管理計画実施計画について
- ②議会活性化について
- ③平成29年度委員会道内行政調査について
- ④平成28年度委員会道内行政調査について

議会活性化の取り組み進む

11月から12月にかけて議会運営委員会及び全員協議会では、議会活性化に向けた協議を進めました。

一般質問での制限時間については、従来通り45分としますが、継続して協議します。

議会のホームページでの情報発信については、掲載内容を充実していきます。

議場中継の導入については、継続して協議します。

議会基本条例の制定については、近隣町への研修などを行いながら進めていきます。

議会ニュース

・浜中町議会が視察来町
・傍聴者からの声



浜中町議会が視察来町

町立診療所の運営について学ぶ

10月17日、釧路管内浜中町議会の社会文教常任委員ら9名が来町し、町立診療所の運営等について、議長、佐藤町立診療所に関する特別委員長、副町長、保健福祉課長などが対応しました。

地域に根差した医療体制構築のため、指定管理者による診療所運営の実態を学ぶとともに、クリニックさろまの施設を視察されました。

傍聴者からの声

宮前町 面昌利さん

我々世代の議員に心強さを感じる

この度、初めて議会を傍聴させて頂きました。

自分が過去に商工会青年部長をやっていた時から、傍聴をしてみたいと思っていたのですが、きっかけがなく、平日ということもあり、そしてどこか敷居が高いというイメージがあり傍聴に行くことはありませんでした。

今回は、我々世代の議員の議会初質問があるということもあり、仲間うちから何人か行くということもあったので、いきつけかたと思いついて傍聴させて頂くことにしました。

最初はとても足取りが重かったのですが、議場の前に女性の職員がいて丁寧に案内してくださったり、最初から最後まで聞けなさいいけないのかと思ったら、途中で入退室ができた、休憩時間もあ

るので1日全部時間を空けてもいいということもわかりました。

今回、その議員が議題にあげたのは、①若年者(単身者)への住居環境の整備について、②町有地・町有建物の活用についてでした。

①の質問については、佐呂間で働く若い世代の人間の住環境が充実していないということ、空き家対策としてリフォームのみに限定されている助成を中古住宅購入まで拡充すべきと訴えました。

それに対しての町長の答弁は、「公営住宅にも空き家があり、民間アパートにも空き家がある状況で、新築アパートに助成をしたりするのは、民間アパートの経営を圧迫する恐れもあるのと考えていない」「中古住宅購入の助成はないが、5年間の居住が確認できれば改修に対しての補助はあるのでそちらを活用してほしい」と、下調べをしたデータ

に基づき、理路整然と答弁していました。

②の質問に対しては、市街地に数力所ある土地の有効活用を訴えましたが、そちらは売却を検討しているなど前向きな回答を得られたと思います。

いずれの質問にしても、若い世代にも目を向けた責任時代の代表としての視点から議題を取り上げ、行政側からの答弁を聞いてさらに切り替えて質問するなど、見ていて心強かったです。

仕事の都合で全部は傍聴できませんでしたが、機会があればまたできるだけ時間を作り傍聴したいと思いました。

最後に提案なのですが、議会の開催日を平日ではなく週末にしたり、平日でも夜間に開催をするなどして頂ければ、もっといろんな人が気軽に傍聴できるのではないかと思います。